シティガイドと歩く・白澤宿七福神を歩くコース MAP

白澤宿七福神を歩くコース

総距離　4．0　km　　所要時間　2時間００分　（見学時間含む）



④明星院（布袋尊）



文明１０年（１４７８）、法師長弘の開基といわれ、慶長年間に白澤宿の現在地に移り、幕末の嘉永２年（１８４９）、京都の愛染寺から稲荷大明神を勧請して寺の守護神として祀り、白澤宿の繁栄を祈っています

⑤薬師堂（毘沙門天）



江戸時代に白澤宿本陣を司った宇加地家の持仏堂として建てられたものです。万病を救うお薬師様として信仰されています。

⑥一里塚（福禄寿）



日本橋から３０番目の一里塚で鬼怒川の氾濫により損壊したとされる。現在の一里塚の碑は地元住民の協力により建立した。

③本陣跡



関が原の戦いの後、宇加地家の因幡守と福田家の源六郎が、幕府に願い出て白澤・上岡本の両村共同により白澤宿を構成した。

水車



明治天皇御休之碑



鬼怒川の渡し跡



⑦北野神社（恵比寿）



江戸時代初期に創建されたといわれ、学問の神、菅原道真を主祭神とし、英雄の神、スサノオノミコトを合祀しています。

②白鬚神社（大黒天）



慶長年間（１５９６～１６１５）に近江国の白鬚神社の分霊を勧請して創始したという神社。８３段ある石段を上がった神社境内から見る白澤地区の展望は必見。

⑧須賀神社（弁財天）



江戸時代中期には成立していたといわれ、享和３年（１８０３）に疫病除けの守護神である津島神社から分霊し、ご神体としたと伝えられています。

①地蔵堂（寿老人）



建久２年（１１９１）、伊沢家景に関わる伝説があり、椎児ヶ坂で亡くなった家景の子（菊丸）をここに葬ったといわれ、五輪塔は菊丸の供養塔であるといわれています。

スタート（河内総合福祉センター）

ゴール（河内総合福祉センター）